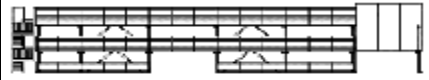


1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)彩都西プロジェクト新築工事	階数	地上2F、地下1F
建設地	大阪府茨木市彩都やまぶき二丁目	構造	S造
用途地域	第二種住居、防火地域	平均居住人員	0人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760時間/年(想定値)
建物用途	工場	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2022年3月 予定	評価の実施日	2020年8月6日
敷地面積	11,852 m ²	作成者	雄健工業株式会社 一級建築士事務所 三原
建築面積	1,344 m ²	確認日	2020年8月6日
延床面積	3,305 m ²	確認者	雄健工業株式会社 一級建築士事務所 三原 眞次



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 0.7

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外の ④上記+

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです。

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質 Qのスコア = 2.4

Q1 室内環境

Q1のスコア = 0.0

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 2.7

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 2.3

LR 環境負荷低減性 LRのスコア = 2.9

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 0.0

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 2.5

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.2

3 設計上の配慮事項		
総合		その他
建物の居住者のための駐車場として、住戸数以上の駐車スペースを確保している。		照明設備にはLED照明を採用している。
Q1 室内環境	Q2 サービス性能	Q3 室外環境(敷地内)
特に無し	外壁にはカラー鋼板を採用している。	敷地内に自生種樹木を含めた緑地を計画している。
LR1 エネルギー	LR2 資源・マテリアル	LR3 敷地外環境
特に無し	特に無し	総合効率の高い照明器具を採用し、広告物照明を行っていない。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

大阪府建築物環境配慮評価システム2018年版 大阪府の重点評価(結果)

受付番号

R2-0064

Osakafu-新築・既存 2018V1.0

【建物概要】	建物名称	(仮称)彩都西プロジェクト新築工事						
	建設地	大阪府茨木市彩都やまぶき二丁目						
	用途/区分	工場						
【評価結果】	CASBEE 総合評価						B-	
①	CO2削減						評価対象外	
②	みどり・ヒート アイランド対策						3	
③	建物の断熱性						評価対象外	
④	エネルギー削減						評価対象外	
⑤	自然エネルギー直接利用						—	
	再生可能エネルギー 利用施設の導入状況	太陽光発電	—	風力	—	地熱	—	—
		太陽熱利用	—	水力	—	バイオマス	—	—
	エネルギー消費量の報告						報告しない	
【評価項目】								
	項目	評価内容					スコア	評価
①	CO2削減	CASBEE「LR3-1」のスコアによる評価						-
②	みどり・ヒートアイランド対策							
	生物環境の保全と創出	CASBEE「Q3-1」のスコアによる評価					3.0	3
	敷地内温熱環境の向上	CASBEE「Q3-3.2」のスコアによる評価					3.0	
	温熱環境悪化の改善	CASBEE「LR3-2.2」のスコアによる評価					3.0	
③	建物外皮の熱負荷抑制	CASBEE「LR1-1」のスコアによる評価						-
④	設備システムの高効率化	CASBEE「LR1-3」のスコアによる評価						-
⑤	自然エネルギー利用	CASBEE「LR1-2」のスコアによる評価						—
	エネルギー消費の実態把握に努める	エネルギー消費量の実績を3年間報告する。					報告する 報告しない	報告しない
その他								
		技術の名称				考慮事項		
	先進的技術の導入							
	特に配慮した事項							